

(▼)は、フリップを出すタイミング、1～4は、フリップ番号を表している。

《発表原稿》

私は、郷土の偉人である上杉治憲について調べました。

▼1 治憲は、高鍋藩秋月家の藩主の子で、米沢藩上杉家の藩主の養子になり、第九代米沢藩主として、藩政改革を行った名君です。上杉家と言え、戦国武将として活躍した、上杉謙信が知られています。

治憲は、これまで藩が抱えていた莫大な借金返済のために、自分の生活費を大幅に減らしたり、家臣にも無駄を省かせたりするなど大節約を行っています。

▼2 また、米沢織など新しい産業をおこすことに尽力したり、有能な人材を登用したりしています。その他に、災害対策や高齢者福祉、児童福祉にも力を入れて、人々を助けるような政策を実施しています。

このような取り組みを通して、治憲は、借金返済や人民救済を行った名君として、今でも米沢の人々が広く尊敬されています。

《フリップ》



上杉謙信
(米沢市上杉博物館蔵)

上杉治憲の人物像
高鍋藩(宮崎県)秋月家の藩主の子で、米沢藩(山形県)上杉家の藩主の養子となり、第9代米沢藩主を務める。米沢藩の藩政改革を行った名君として名高い人物である。上杉家は、戦国武将の上杉謙信が知られている。

米沢織を作る様子



(「山形県ホームページ資料」より作成)

▼3 さらに、治憲は、現代でも、全国の自治体の首長を対象にしたアンケートで、理想のリーダーとして名前が挙げられています。

最後に、治憲は、海外の人にも尊敬されていたことを紹介します。第三十五代アメリカ合衆国大統領のジョン・F・ケネディが、最も尊敬する日本人として治憲の名前を挙げています。

▼4 このように上杉治憲を調べていくうちに、私は、治憲のような人物が郷土の偉人であることを、誇りに思いました。

今後は、治憲が行った他の政策についてもさらに調べたり、他の郷土の偉人にはどのような人がいるのかを新たに調べたりするつもりです。

和美さんは発表の前に、グループの人に発表を聞いてもらい、アドバイスをお願いしました。次は、その後に行われた《話し合いの様子》です。

《話し合いの様子》

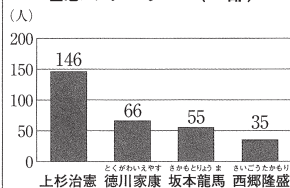
和美 発表を聞いて、何かが付いたことがあったらアドバイスをお願いします。

陽介 発表原稿の中に、言葉のかかり受け(文節の対応)が間違っている箇所があるので、

A と書き改めた方がい

3

理想のリーダー (一部)



(「2007年 読売新聞」他より作成)

上杉治憲



(米沢市上杉博物館蔵)